



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



2020 あーとま塾 特別篇

アフター・コロナにおける 劇場の役割

劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ

あーとま塾は、 新しいフェイズに

2021
2.26(金) - 27(土)

「社会包摂の理念」を
総合的社会文化政策「社会的処方箋」へと昇華させる

想定外のコロナ禍によって、今年度のあーとま塾は変則的な開催を余儀なくされました。しかし、この経験を奇貨として、文化芸術と劇場・音楽堂等の持つ社会に「変化」をもたらし、人々の幸福度を高める汎用性の高い「機能・効能」により一層注目してもらえる機会にしたいと考えています。そのようなハードルを越えようとする以上、私たちは「現場」と「当事者」に向き合いながら、実りの期待できる文化的施策を立ち上げていかなければなりません。

あーとま塾は今回から新しいフェイズへと移行します。

教育・福祉・保健医療・多文化共生の現場を支える人たち、生きづらさを抱える全ての人たちと手を携えて、見たことのない景色に遭遇する『旅』を共にしましょう。

あーとま塾 塾長／衛 紀生
(可見市文化創造センターala 館長兼劇場総監督)



About あーとま塾

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」や同法に関する指針及び計画では、劇場は鑑賞型事業の実施だけではなく、文化芸術の社会的価値を活用させ、地域社会のための包摂的な役割や機能を果たすことが求められています。

あーとま塾は、これまで「文化政策」「社会包摂」「マーケティング」の3テーマのもと、可見市文化創造センターalaの鑑賞者開発の取り組みや地域貢献及び社会包摂に関する考え方を題材とした、劇場に関わる人たちの意見交換の場となってきました。

2020年度は特別編として、今後予想されるコロナ禍の経済的な影響を背景とした深刻な社会状況から人々が回復するための「アフター・コロナにおける劇場の役割」について、参加者の皆さんと共に模索する機会にしたいと思います。

本ゼミは新型コロナウイルス感染防止対策を行い、開催します。詳細は裏面をご覧ください

SCHEDULE

スケジュール

1日目



午前中(自由参加)

施設や事業
(ワークショップ等)見学など

13:00 ~

塾長やゲストによる
レクチャー&トークセッション
(18時頃に終了予定)

2日目



10:00 ~

参加者間のグループワーク、
ロジックモデル作成など

14:30 ~

参加者のプレゼンテーション、
塾長・ゲストによる講評など
(16時までに終了予定)

※スケジュールの詳細は参加確定後、個別にご連絡します。
※劇場の最新状況などに合わせて臨機応変にプログラムを変更する場合があります。

GUEST

ゲスト

八木 匡

同志社大学経済学部教授
文化経済学会(日本)前会長

落合 千華

ケイスリー株式会社取締役
Arts United Fund発起人
(※リモート参加による)

ロジックモデルファシリテータ

今尾 江美子

ケイスリー株式会社
ディレクター

今回のゼミでは「文化政策」「社会包摂」「マーケティング」の3テーマにまたがる包括的・概論的な内容から「アフター・コロナにおける劇場の役割」を考えます。劇場運営・学術研究・経営コンサルティングの専門家から見たコロナ禍の現状分析と今後の展望についてレクチャーをいただいた後、ゲスト講師のアドバイスを受けながら、劇場と社会の新しい関係を考えるグループワークをおこない、ロジックモデルを作成します。

PLACE

可児市文化創造センターala・レセプションホール

ENTRY

アーラのホームページ(下記URL)から「参加申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。
参加費無料(要申込)。定員20名。

【HP】 <https://www.kpac.or.jp>

※申込後、5日以内に返信がない場合は申込先までご連絡ください。
※会場の都合により、定員を超えた場合には、選考を行うことがあります。

【対象者】 劇場に関係する職員、自治体職員、議員、芸術団体所属の方、学術研究者、NPO職員、学生、市民の方など

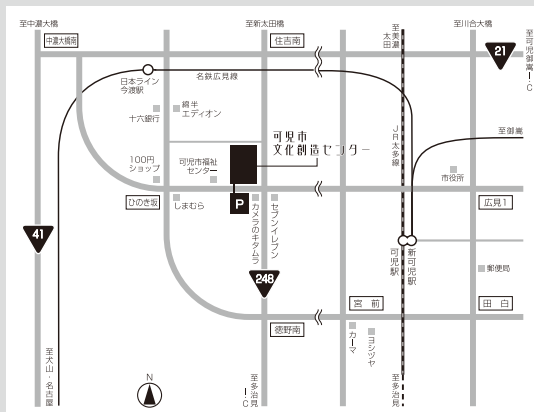
申込締切

2021年2月10日(水) 17:00

お問い合わせ

可児市文化創造センター 顧客コミュニケーション室(栗田)
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
TEL: 0574-60-3311 FAX: 0574-60-3312
Email: ys-kurit@kpac.or.jp

ACCESS



交通アクセス

- 名鉄名古屋駅より約50分
日本ライン今渡駅下車
徒歩/10分
- JR名古屋駅より約70分
可児駅下車
タクシー/約10分
徒歩/30分
- 東海環状自動車道
可児・御嵩ICから約15分
- 中央自動車道
多治見ICから
国道248号経由で約25分

近隣のホテル

- | | |
|---|--|
| ホテルルートイン可児
可児市広見5-130-2 TEL:0574-63-1323 | パークホテル可児
可児市広見3-27 TEL:0574-60-0755 |
| ホテルシンセリティ
可児市広見2-55 TEL:0574-63-3111 | ABホテル可児
可児市広見6-54 TEL:0574-60-0413 |

●旅費補助・宿泊手配制度について●

宿泊を必要とする参加者を対象に旅費の一定補助と、宿泊先を無料手配する制度があります。詳細は参加確定後に個別にご連絡します。

アーラの取り組み ▶ 本ゼミは新型コロナウイルス感染症対策を行い、開催します。

十分な換気

アーラは機械換気設備により、約25分間に1回空気が入れ替わっています。厚生労働省が示す換気量の基準を満たした十分な換気性能を有しています。

定期的なPCR検査

アーラ全職員は、PCR検査を受診しています。毎朝の検温など体調管理を心がけ、マスク着用でお客様をお迎えします。また、主催・共催公演の出演者等につきましても事前にPCR検査を実施しています。

アーラ感染症対策WEBページ
<https://kpac.or.jp/ala/covid19/>



- ・館内では、マスクの着用をお願いします。
- ・受付時に検温を行います。発熱があった場合、入場をお断りする場合がございます。
- ・厚生労働省による接触確認アプリ(COCOA)のご利用をお願いします。
- ・ご来場にあたり、アーラ感染症対策WEBページをご覧ください。